

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 幼児教育課

会議の名称	第1回 茅野市保育所運営審議会		
開催日時	平成28年7月11日(月) 午後7時00分～9時35分		
開催場所	茅野市役所 7階 704会議室		
出席者	※委員出席：小林宏会長、名取忠義副会長、中島伸和委員、福塚久和委員、市村直樹委員、小平貴文委員、笹岡八重子委員、村山恵子委員、小林智委員 ※市側出席者：柳平市長、牛山教育長、牛山こども部長、牛山幼児教育課長、立石施設整備係長、五味幼児教育係長、柳平園長		
欠席者	小林俊恵委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	1 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局(牛山課長)	1 開会		
市長	2 委嘱書授与 柳平市長は各委員に委嘱書を授与した。		
市長	3 あいさつ 委員の皆様には、日頃よりそれぞれのお立場で保育行政にご尽力をいただき感謝とお礼を申し上げます。 茅野市では、たくましくやさしい夢のある子どもを育てていくため、保育と教育を一体として捉えた事業をしている。教育委員会所管で保育行政を行っていることもその1つである。これは茅野市の特徴であり良い取り組みだと自負している。 幼児期は人格形成の基礎を培う大切な時期となる。この時期の取り組みが、その後の成長にも影響が出てくるとの信念のもと、保護者・保育士・地域の皆様と一丸となって、取り組んでいきたい。 一日保育士体験、地味ではあるが良い事業だと思っている。父親の参加を期待したい。私は現在市内全保育園に行き、子どもたちと昼食をとっている。食事をしてから絵本の読み聞かせをしているが、わずかな時間であるが、子どものしぐさ表情を見ることができ、ひとりひとりの個性を感じる。 この時期の子どもの姿は成長に差があるが、1人1人の子どもに寄り添う保育士は大変な仕事であると認識する。さらに良い環境を作って行かなければならない。 委員の皆様においても、忌憚のないご意見をいただきたい。		
事務局	4 自己紹介 (委員、事務局) 5 正副会長の選出 事務局が、保育所運営審議会規程第4条の規定により、会長、副会長を		

会長	<p>互選により選出してほしい旨の提案を行い、委員の互選により会長に小林宏委員、副会長に名取忠義委員を選出した。</p> <p>会長あいさつ</p> <p>先月6月8日に米沢小学校の先生方と民生児童委員で懇談会を行った。ある委員から、建物のここが汚い・ここが駄目という意見があった。今までそういうことに気づけなかった。何事も新たに見つめ直してみないと、物事は進展しないことを学んだ。新しい視点を持って、審議会に臨んでいただきたい。</p>
副会長	<p>副会長あいさつ</p> <p>民生委員として、保育園へ訪問の機会も多い中、保育園からの支援の要望も多く、全てに参加することがままならない状況であったが、昨年より、保育園からの要請を少し減らすお話をいただいた。地域の皆さんと協力していくことはもちろん行っていくが、民生委員の業務の軽減していただき、他の業務にも注力できることに感謝している。</p> <p>会長・副会長は、就任のあいさつを行った後に、会長は議長に就任した。</p>
事務局	<p>6 協議・説明事項</p> <p>1) 審議会等の会議の公開について</p> <p>事務局は、本日開催される保育所運営審議会について、資料の「審議会等の会議の公開について」の資料に基づき公開の対象となる旨を説明した。</p> <p>議長は、会議の公開について一同に諮ったところ、全員異議なくこれを了承した。</p>
事務局	<p>2) 保育園の運営状況について</p> <p>事務局は、保育園の運営状況について、資料を簡潔に説明した。</p>
議長	<p>ご意見ご質問はありますか。</p>
委員	<p>病児病後時保育事業について、登録者数と利用者数について教えて欲しい。</p>
事務局	<p>病児病後時保育は登録しないと利用できない。登録用紙は保育園の入所受付の際、同封しているので、とりあえず登録だけしておく人が多く、登録者は多人数。実際利用する人はその中の一部となっている。</p>
事務局	<p>3) 私立よこうち保育園「認定こども園」への移行について</p> <p>事務局は、資料に基づき、幼保連携型認定こども園への移行についての報告、学級編成・職員配置・面積の基準について、認定こども園移行に対するメリット・デメリット、認定こども園へ移行後の教育保育方針、幼保連携型認定こども園の説明を簡潔に説明した。</p>

議長	ご意見ご質問はありますか。
委員	デメリットの中で、職員が幼稚園教諭と保育士の資格を持つ必要があるとあるが、それがなぜデメリットなのか。
事務局	両方の資格を持つ人を採用しなければならないという観点と、現在保育士の資格しかない職員は平成 31 年までの経過措置期間の間に幼稚園教諭の資格を取得しないといけないという観点からデメリットとした。子どもに対してのデメリットではない。
委員	よこうち保育園を見に行き運動、音楽指導をしっかりと行っている。今年度から英語タイムを始めたとあるが、構想等を聞いているか。
事務局	茅野市多文化共生教育推進事業の中で取り組みを始めてほしいと園長会で話した中でよこうち保育園がいち早く対応していただいた。今年度から講師も来ていただいていると報告を受けている。多文化共生教育推進事業は公立園でも各自取り組んでいる。
事務局	4) 私立保育園等に対する補助金の見直しについて 事務局は資料に基づき私立保育園に対する補助金要綱制定の経過、現状と課題、方針、制定までのスケジュールについて、簡潔に説明した。
議長	議長が私立保育園に対する補助金の見直しについて、質問があるかと諮ったところ、一同全員異議なくこれを了承した。
事務局	5) 保育園管理計画策定スケジュールについて 事務局は保育園管理計画策定スケジュールについて、これまでの経過、今後のスケジュールについて簡潔に説明した。
議長	ご意見ご質問はありますか。
委員	平成 28 年度以降の計画は白紙なのか。
事務局	当初の後期保育園建設計画で上がった 8 園のうち 3 園は完了している。残りの 5 園（北山、小泉、みどりヶ丘、宮川第二、中大塩）を盛り込んでいく。少子化の中で統廃合を含め、どう考えていくか示していく。今年度公共施設等総合管理計画を策定し、次年度に個別計画を示していく予定であるが、耐震補強が終了していないことを考慮し、前倒しで平行してできればやっていきたい。
委員	民営化はよこうちで終わりか。
事務局	現行の中では一段落した。今の段階での計画はない。

事務局	<p>6) 家庭的保育事業における職員配置基準について</p> <p>事務局は、地域型保育事業の種類、従事できる職員の員数と新しい基準について説明した。併せて、茅野市においては、今後も准看護師を保育士とみなす条例改正を行わない方針で進めていきたい旨の説明を行った。</p>
議長	<p>ご意見ご質問はありますか。</p>
委員	<p>これは公的ではなく、民が起ち上げる園ということか。</p>
事務局	<p>市町村を含め、この事業を実施する場合、市が認可する基準があり、基準に合った施設でないと市が認可することはできない。基準は市が条例で示すこととなる。</p>
委員	<p>事業所内保育はどうなっているのか。市内にも諏訪中央病院で行っていないか。</p>
事務局	<p>諏訪中央病院とヤクルトが無認可で行っている。認可の事業所内保育事業を実施する場合、地域枠の定員を設け受入れを行なわなければならない。諏訪赤十字病院は今年度から、新制度での事業所内保育を実施している。</p>
委員	<p>無認可でも営業はできるのか。</p>
事務局	<p>実施することは可能であるが、給付が受けられない。現在も県の指導監査を受けている。無認可ではあるが、一定の基準は満たしている。</p>
議長	<p>議長が准看護師を保育士とみなすことができる条例改正を行わない方針について諮ったところ、一同全員異議なくこれを了承した。</p>
事務局	<p>7) 子ども・子育て支援事業計画における事業の進捗状況について</p> <p>事務局は子ども・子育て支援事業計画における進捗状況について説明した。</p>
議長	<p>ご意見ご質問はありますか。</p>
委員	<p>病児病後保育、時間を延長して欲しいという希望があるか。</p>
事務局	<p>子ども・子育て支援事業計画を策定にあたり、0歳から小3までアンケートを実施した。この中で、時間延長希望はごく少数だったので、現状どおりとしたが、需要が増えてきたら改めて検討していきたい。</p>
委員	<p>開所時間は何時から何時までか。</p>
事務局	<p>開所時間は午前8時から午後4時までとなる。</p>
	<p>8) 土曜日保育の見直しについて</p>

事務局	事務局は土曜日保育の見直しについて、土曜日保育の見直しの目的、アンケート内容について、アンケート調査の結果について、アンケートから読み取れる課題、当初目的とアンケートの結果からの検証、課題について簡潔に説明した。
議長	非常に大きな課題であるが、ご意見ご質問はありますか。
委員	課題は大きいと感じている。保護者会連合会の中でも利用している人がいるが、土曜日は午前中までで、昼食もパン1個と聞いている。実際に利用者も少ない。土曜日は運営しなければいけないのか。
事務局	新制度では、土曜日開所の流れの中で制度設計されている。茅野市に限らず全国で保育士不足が深刻で人員の確保ができない現実がある。茅野市も全園で開所時間を延長することは対応ができない状況である。それゆえに集中園方式を考えたが、不便不安の声が多く聞こえる。今日のご意見を伺いその結果を踏まえて決定していきたい。
委員	現在の土曜日保育では、保育料はどうなっているのか。
事務局	現在は、午前8時から午後4時までのかからない。午前7時半から午前8時までの利用と、午後4時以降の利用の場合保育料を頂いている。保育料にあまり差はない状況である。
委員	現状は、保育料収入は少ないが、係る経費は大きいと受け止める。お金を払っても預けたいのか、かからないから預けたいのかどのような状況なのか。昼食はどうなっているのか。お弁当は持たせないのか。
事務局	全園、軽食（菓子パン）と飲み物（牛乳）のみの調理員が不在でも提供できるものを出している。あくまでも軽食なので家庭に帰ってから栄養を補ってもらっている。現在はちの保育園のみ、午後2時以降保育するお子さんに対して給食を提供している。午後2時以降まで残るお子さんと、お昼で帰るお子さんは別々の部屋で給食を摂るような体制となっている。調理員確保の面からも、全園で土曜給食は無理なので、集中園方式なら給食が出せて良いと思ったが、アンケート結果を見ると、今まで通り軽食が良いので通常通っている園に行かせたい意見が多かった。
委員	何人も来ている園は良いが1人2人の園児のために保育士が2人来なければならないのは非効率だと思う。
委員	以前土曜日に保育園に行ったときに、先生はいたが、子どもがいない状況があった。当日子どもが来れなくなる日もあるということであった。来るか来ないかわからないが保育士はしばらくそこにとどまらなくてはならず、気の毒だと感じた。保育士の費用を考えると、少人数で行うことが本当に良いか考えてしまう。

委員	今は、保育士の立場で話が進んでいるが、子ども主体の議論でいいのではないか。保育士は出勤すれば代休が取れるならば、それでいいと思う。
委員	1人の子どもに対し保育士2人必要であるという市の保育行政に対し、無駄とっていいか分からないが、受ける側も考える必要もあると感じる。子どもは朝具合が悪くなることもあり仕方のない面もあることは理解できるが、大勢の申込がありその中の1人が来れなくなったのと、1人のみの申込みで来れなくなるのは違うと感じる。子どもも1人に対して先生1人よりも、大勢の子どもの中で過ごしたほうがよいのではないか。集中園方式となって、親は心配しても子どもの方がすぐ慣れていくように思う。連れていく親はいつのもの所が良いと思っても、子どもは集中園の方がよいのではないだろうか。
事務局	土曜保育の見直しは、現状の利用人数を想定する中で、集中園方式への移行を検討していたが、アンケート結果では、時間が長くなることにより、利用したい希望者が増える結果となった。土曜保育の安心、安全確保には保育士の増員を見込まなければならない。土曜出勤をすると、平日代休を取ることとなるが、利用者が増えると現状の代替保育士だけでは、替わりの保育士が賄えない状況もでてくる。また、平日代休を取る保育士が増えてくると、通常保育に影響が出ることになる。平日に支障を出してまで土曜保育を充実させないといけないのか、という議論になってしまった。給食の提供においても、慣れない場所で調理を行うには、2人態勢が望ましいと委託先からも要望がきており、想定より経費がかかることが予測される。
委員	利用していない人にとっても、平日担任の先生の休みが増えることは、支障が出るということになる。
委員	土曜保育を利用している人の就労証明は出されているのか。
事務局	土曜日のみの就労証明は現在、提出してもらっていない。
委員	土曜日の就労証明を義務づけないと、土曜日利用したい人が増えて続けてしまうのではないだろうか。
委員	親の都合のみで、出したい人は増えていくことが懸念される。
委員	実際に土曜日にも就労があり、預けたい人が利用できなくなることはない。
事務局	開所時間は異なるが、全園土曜日開所して、お預かりできる状態になっている。
委員	サービス業の仕事の人は、午後2時までの利用というのは実際には使い

	<p>やすいしくみではない。</p>
事務局	<p>そのために、ちの保育園で 11 時間開所を行い利用できるしくみは整えている。</p>
委員	<p>ちの保育園では、他園からも受入れを行っているのであれば、実績はすでにあるので、安全面の不安ということではないのではないか。保護者の負担が増すことに対する反対ではないか。</p>
事務局	<p>集中園方式にする場合、かなり保育士を確保する必要がある。</p>
委員	<p>年間 5 4 万節約になるとしても利用者が増えたらもっと経費が必要となり節約にはならない。であれば現状維持でも良いと考える。</p>
事務局	<p>利用者が増えたら当初見込んだ経費節減にはならなくなる。今日ここで話し合った結果を受けて、7 月に市長との相談、10 月の入所申込み前に保護者に方針を伝えることにしている。</p>
委員	<p>保護者会で、アンケートの結果について、議論し、保護者の意見としてまとめたらどうか。</p>
委員	<p>アンケートはどのような方法で実施したのか。</p>
事務局	<p>保育園から、家庭数で配布している。今日の資料は、全家庭からの意見を集約したものとなっているので、保護者会で意見を聞いていただいても同じ内容の結果が見込まれる。</p>
委員	<p>現在利用している実績の人数を保護者に示したらどうか。</p>
事務局	<p>その数値は、昨年アンケートで示している。今回のアンケートでは、利用していない方の自由記載の中に実際利用している人の意見を聞いて欲しいというのが多かった。実際利用している人で他園に行かなければならない方の理解を得ることは必要だと考えている。</p>
委員	<p>その園で、1 人 2 人しか利用していないことは、なんとなく保護者は理解している。長い時間保育を希望する人は、そんなに急激に増えることはないのではないか。それよりは自園で今までどおり利用したいと希望している人が多いという結果だったと思う。</p> <p>アンケートの結果から、デメリットも多くあることがわかってきたので、メリット・デメリットを精査すると、今年度まとめて、来年度から実施していくことは無理ではないか。集中園で行うことを進めるのであれば、数年後に実施していくことを、今から周知していけば移行もスムーズにいくのではないか。</p>

事務局	<p>クリアしなければならない課題もあるので、来年度から実施することは、厳しいと感じている。実施していくには、それなりの態勢を整えなければならない。経費をかけて実施することとなる。今の土曜保育の状態が、ベストの状態とは思っていないが、集中園方式にすることのデメリットの部分も伝えていきたい。このアンケートは将来に向けての検討材料としていきたい。</p>
委員	<p>改めてアンケートの結果を見ると、利用していない人が930人いる中で、8割の方が他園に通うことができると回答している。この結果で結論を出すのではなく、利用している人の意見を優先させることは大事なことだと感じる。</p>
委員	<p>保護者には、実施が困難であるという内容で説明をしていくということでのよいか。</p>
事務局	<p>アンケートの結果から、当初想定していなかった課題も明確になってきたので、集中園方式で実施していくことは難しい。提案した以上は、結論を出し保護者に伝えていきたい。</p>
委員	<p>45ページと、47ページアンケート結果はどのように違うのか。</p>
事務局	<p>45ページは、全体の結果、47ページは土曜保育を現在利用している人の結果となっている。自園で集中保育を行うところは賛成意見が多い。他園に通うことになる人も、アンケートの数字では7割が通えるという結果だが、自由記載の中で出された意見を大事にしていきたい。最終的に他園に行かなければならない人の中の35%の人が反対していて賛成意見は4割。言い換えれば4割の人しかご理解頂けなかったことになる。慎重に進める必要がある。</p>
委員	<p>集中園方式にしたら通常業務に支障がでてくるということでのよいか。</p>
事務局	<p>集中園にしたら11時間開所になるので出勤した保育士は平日1日休むようになる。現状だと半日開所なので土曜日2回出勤して1日代休なので違いが出る。平日に担任がお休みを取るのが増えるので、土曜日保育に出していない人にも影響が出てくる。そこはアンケートで伝えていない。</p>
委員	<p>受益者負担の考え方からすると、土曜日利用する人は今の保育料とは別に負担してもらえばいいのではないか。</p>
事務局	<p>保育料は国の基準により定めているので、保育料に差をつけるとすると平日を下げるしかなく、土曜日分を高くすると国の基準を超えてしまうので、現実的ではない。</p>
委員	<p>土曜だけ一回いくらで徴収することはできないか。</p>

事務局	できない。月額でしかもらえない。
委員	集中園方式は茅野市以外で行っているところはあるか。
事務局	富士見町では実施しているが、全園数が少ない。諏訪市は全園で給食も出し一日開所している。茅野市と同規模で実施している市町村について、把握していない。都会では私立を何園も経営されている法人が集中園方式で実施しているところはあると聞いている。
委員	人数の面でも大勢の中で土曜保育を行ったほうが良いという声もあるのでは。
事務局	賛否両論ある。我が子は人見知り激しく他園では無理との声もある。
委員	土曜保育は親の就労のために必要になるので、子どもの状況より、親の就労という観点で考えてもいいのではないか。集中園方式を試行で行うのはどうか。
事務局	現在ちの保育園で11時間開所を行っているが、現状は他園から来た保育士も含めて保育を行っているが、園児も半数が他園より来ている中では、お子さんの顔と名前を覚えることや、人数確認するだけで精一杯で、外遊びがさせられない等の制限がでていいる。リズム室で遊ぶのも、年齢ごとに行うなど、安全保育が優先になっている状況である。保育園に慣れて行くことも、3歳以上児はすぐに慣れるが、未満児は時間がかかる。未満児が増えると、保育士の人数も必要になる。現在も保育士の人数は多いようでも、まだ足りない、心配であるという保育士の声がある。4園で集中園を行ったら、今よりも多く保育士が必要になることが想定される。
事務局	来年度の実施は難しいことをご理解頂きたい。
委員	土曜保育の集中園方式は私立と公立を一緒に実施するという事でよいか。
事務局	経営者からはご理解いただいている。アンケートの結果では一部の保護者の方から厳しいご意見をいただいている。
委員	茅野市で統一して行う考え方は良いと思うが、私立と公立の差があってもよいのではないか。
事務局	私立と公立が別々に行う一番の課題は給食提供である。土曜日の給食提供は調理員の確保を考えると、4園がぎりぎりのラインである。私立は弁当持参、公立は給食提供というわけにはいかない。そのために一緒に行うという方向性を出した。

委員	<p>保護者が私立に求めるもの、公立に求めるものが違うはず。</p> <p>私立が自園の特色を出すという観点から、私立どのような形態で土曜保育を行いたいのか、決めてもらうべきではないか。</p>
事務局	<p>保育士は週休2日が取れないという課題がある。新制度では6日預かることが前提となっているが、5日勤務の労働の中で、6日開所していくことは難しいことをご理解いただきたい。保育士が十分確保できれば、私立の個性を活かすことができるが、保育士が不足しており、理想に及ばないのが現状である。</p>
委員	<p>私立の希望としても、集中園で一緒にやりたいとなったということによいか。</p>
事務局	<p>私立は土曜日を開所しないと運営費が減らされるのではないかという危機感があったが、集中園で行っても現行どおりの収入が見込まれることが確認できたという経過がある。その中で、集中園方式に参加していく意思表示があった。</p>
事務局	<p>たくさんの議論をしていただいたが、それだけ課題があると受け止めている。方向性は次回の審議会でお伝えしていきたい。</p>
委員	<p>9) その他</p> <p>今年度も9月頃から次年度の入所申込が始まっていくと思うが、第1子の場合、いつ入所申込をしていいのかよくわからず、1年間の育児休業明けで保育園申込みをしたら、申込は終了しているということで、空きがなく育休延長をして対応したということがあった。</p> <p>初めてのお子さんの場合は、しくみが良く分からないと思うので、出生届を提出する時など、保育園の入所申込はいつ行ったらいいのか、案内を出してもらいたい。</p>
事務局	<p>極力多くの人の目に触れることができるよう情報発信していく努力をしていきたい。</p>
教育長	<p>13 お礼あいさつ</p> <p>長時間にわたってきめ細かい御審議ありがとうございました。ご承知のように、運営審議会の内容も実質7項目超えるたくさんの中であり、特に土曜保育についてはもっと検討が必要であるというご指摘も頂き、心から感謝申し上げます。特に、茅野市がなぜこんなにも保育行政に力を入れているのか、市長も冒頭申したが保育園にどんな期待をしているのか、皆様深く感じていただけたのではないだろうか。</p> <p>力を入れる一番の理由は、生まれてから5歳の終わりまでの人間形成が、子どもたちの成長に大きく影響することを強く意識しているからである。</p> <p>人間形成に影響を与えるスピードがものすごく速い。特に3歳の子どもは一か月ごとに変化が激しい。そこに関わる保育士の皆さんは責任が重い</p>

ことを意識している。保育士さんたちの労働の観点も考える必要がある。

土曜保育についても、子どもたちにとって、保護者にとって、保育士にとって、良い行政とはどうあるべきか真剣に考えている。次回も忌憚のないご意見を、根拠をもって聞かせて欲しい。本日の運営審議会を終わらせてもらう。

長時間ありがとうございました。

14 閉会

以上を持って、本日の会議日程のすべてを終了した。牛山課長は、午後9時35分に閉会を宣言した。

事務局